

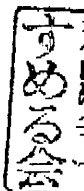
神奈川県労働委員会民主化対策連絡会議

事務局長 木戸 篤 様

2002年 7月 1日

NKK権利闘争すすめる会

事務局長 渋谷正行



地労委民主化対策連絡会議への出席の留保のお知らせ

前略

この間、NKK権利闘争すすめる会より地労委民主化対策連絡会議の事務局会議に参加していませんでしたが、あらためてNKK権利闘争すすめる会の見解をお知らせします。

私達は、全国の多くの皆様のご支援により人権裁判を15年、役選介入事件が9年と長期の争議を闘ってきました。NKK権利闘争すすめる会はこれらの経験をふまえて、労働者が連帯して闘ううえでの基準は統一と団結を強める立場こそが大切であり、全労連・神奈川労連と対立を深めるようなあり方、運動はやるべきではないと考えます。

神奈川労連は、先に地労委民主化対策連絡会議との関係で一定の組織的決断を行いました。また、これをうけて地労委民主化対策連絡会議は『「連絡会議の目的」に沿って、共同の前進のために努力する』としています。

従いまして、すすめる会代表委員会において、全員の合意により結論として「現在の状況では神奈川労連との関係が正常化されるまで、NKK権利闘争すすめる会から、地労委連絡会議事務局に役員を派遣することが出来ませんので事務局会議への出席を留保する」ことを決定しましたのでお知らせします。

以上